

アトピーを長期に抱え、苦難を抱えている方へ、ご家族のみなさまへ



# 最新アトピー治療

## Dr.Mathesonアトピー治療研究会

### ワークショップ

#### 鎌倉芸術館 会議室2

#### 2018年3月10日(土) 13時30分～16時

#### 標準治療の水面下で苦難を抱える日本のアトピー患者:

日本ではアトピー患者は、長期間症状が改善せずに学業や仕事、日常生活に甚大な支障をきたす患者が多く深刻な社会問題となっています。問題なのは医療側の治療方針と患者側のニーズの間にずれがあることであり、患者は自分を責める必要はないのです。最適な医療を選択する患者の尊厳を援助したいのです。

#### このような方へ:

- ・アメリカのアトピー治療、アレルギー治療とは？  
とはどのような治療ですか？
- ・かゆみの原因バクテリアとは？
- ・アメリカの「ステロイド」と日本の「ステロイド」の質と戦術の違い、強度ではなく浸透度とは？
- ・どうして日本で治らないのでしょうか？
- ・長い間苦労していて、何も信じる事ができません。
- ・アトピービジネスに何度もお金を使ってしまいました。
- ・このままでは毎日とてもつらく、将来が不安です。
- ・アトピーを治したいと思うのですが、とにかく医療を信じる事ができません。

#### Dr.Mathesonアトピー治療:

バクテリア感染や空気アレルギーなど、患者さん、それぞれの原因を特定し、それらを一つずつ治療します。

#### ワークショップ概要:

- 1, 日本のアトピー患者の状況
- 2, ドクターマセソンアトピー治療概要  
・日本とアメリカのアトピー治療戦術の違い、アレルギー免疫療法違い
- ・アメリカ治療プログラム概要: メリットとリスク
- ・難治化例への対処方法: 日本のステロイド軟膏～リバウンド状態からの脱プログラム
- 3, 最新アトピー治療薬デュプリマブ(抗IL4とIL13):  
ドクターマセソン治療資料より
- 4, ケーススタディ/治療後の患者さんシェア

\*内容は当日の進行状況により変更になる場合があります



ファシリテーター:  
明石郁生 臨床心理士



1963年生まれ 明治学院大学経済学部卒 CSPPカリフォルニア臨床心理大学院修了 臨床心理士

幼少期からの喘息、18才で成人型アトピー発症。苦闘の人生を送る。30才で日本型ステロイドリバウンドで倒れ、死の淵をさまよう。36才の時に「ドクターマセソンアトピー治療」で完治。2001年に「アトピーアソシエーションジャパン」発足。

著書: 「1%の奇跡」 WAVE 出版  
一長く過酷な旅だった。死の淵をさまよっていた私は、ついに「アメリカ医療」でアトピーを完治した一

#### ➡ 開催要項

日時: 2018年3月10日(土) 13時30分～16時 (13時15分開場)

会場: 鎌倉芸術館 会議室2 鎌倉市大船6-1-2 <http://www.kamakura-arts.jp/>

参加費用: おひとり 8,000円/付き添いのご家族: 4,000円(消費税込み)

定員: 30名(定員になり次第締切とさせていただきます。)

お問い合わせ ご参加ご予約: ホームページ/お電話にて

ホームページ: <http://a-association.com> メール: [ejapan@aj.sakura.ne.jp](mailto:ejapan@aj.sakura.ne.jp)

お電話: 0467-82-8277 火～土 9時30分～17時



<http://a-association.com>



主催: アトピー・アソシエーションジャパン  
オレゴンメディカルコーディネーターズ